

## 平井・熊倉 両選手に期待



久原 大輝

ウルフドッグス名古屋との2連戦では、2人の選手が、今季初めてスタメンに名を連ねた。

平井海成選手と熊倉允選手。

平井選手は2月末に行われたパナソニック戦で、途中出場。第2セットの勝負どころで、チームを勢いづけるブロックポイントを決めて貢献した。名古屋戦では、打数こそ少ないもののスパイク決定率が2日とも50%を超え、気迫満点のガッツポーズで、チームを盛り立てた。

熊倉選手は、コンディション不良の江選手に代わり、オポジ

ットのポジションで出場。ブロック決定率がリーグ1位の名古屋相手に、苦しむ場面もあったが、果敢にスパイクを打ち続けた。

2人の選手に共通しているのは、ポテンシャルの高さである。平井選手は高校まで野球部に所属。投手だったこともあり、地肩の強さはチームでもトップクラスだろう。熊倉選手は線こそ細いが、全身がばねのような高いジャンプ力が特長の選手である。

プレーオフ進出の道は絶たれてしまったが、これまで出場機会がなかった2人にはコートに立っただけで満足せず、「俺がチームを勝たせる」という強い信念を持ち、残り4試合を戦ってほしい。(JT広島マネジャー)



トスを呼ぶ熊倉選手  
(3月5日)